

## カウンターテナー研究会 第3回例会



### ヘンデル カストラートの使い方



## カストラートについて

- ◆ 変声前に去勢手術をして、成人後も女声の音域を保っている男性歌手
- ◆ 当初の需要は教会だったが、次第にオペラにも進出
- ◆ 17世紀後半頃から18世紀、優秀なカストラートはイタリア・オペラの

### ★★スター的存在★★

- ◆ 去勢手術が禁止された後、結果的に絶滅...
- ◆ 現代においてバロックのイタリア・オペラを上演する際は、カストラートが歌っていた役を、他で代替せねばならない
  - ⇒ (オクターブ下げるなどして) 男性歌手が男声音域で歌う
  - ⇒ 女性歌手が歌う
  - ⇒ カウンターテナーなど、男性高音歌手が歌う (いまココ?)

## 《アグリッピーナ》初演時の配役

- ◆ クラウディオ(ローマ皇帝) A. F. カルリ(B)
- ◆ アグリッピーナ(その妻) M. ドウラスタンティ(S)
- ◆ ネローネ(アグリッピーナの息子) V. ペッレグリーニ(C)
- ◆ ポッペア(ローマの貴婦人) D. M. スカラベリ(S)
- ◆ オットーネ(ローマの将軍) F. ヴァニーニ-ボスキ(A)
- ◆ パッランテ(従者) G. M. ボスキ(B)
- ◆ ナルテージョ(従者) G. アルベルティーニ(C)
- ◆ レスポ(従者) N. バジーニ(B)

## ヴァレリアーノ・ペッレグリーニ

- ◆ 1663年頃生～1746没
- ◆ 1690～1729に活躍

### 【参考】

- ニコリーニ(1673生)
- セネジーノ(1686生)
- カレスティーニ(1700生)
- ファリネッリ(1705生)
- カッファレリ(1710生)



## 《リナルド》初演時の配役

- ◆ リナルド(十字軍の勇者) ニコリーニ(C)
- ◆ ゴッフレード(十字軍の将軍) F. ヴァニーニ-ボスキ(A)
- ◆ アルミレーナ(その娘) I. ジラルドー(S)
- ◆ エウスターツィオ(ゴッフレードの弟) V. ウルバーニ(C)
- ◆ アルミーダ(魔女) E. ビロティスキアヴァンティ(S)
- ◆ アルガンテ(エルサレム王) G. M. ボスキ(B)
- ◆ 魔法使い G. カッザーニ(C)
- ◆ 妖精2人 不明(S)
- ◆ 使者 ロレンス氏(T)

## ニコリーニ(ニコラ・グリマルディ)

- ◆ 1673 - 1732(共にナポリ)
- ◆ 当初はソプラノ音域、後にアルトまで下がる
- ◆ ナポリ、ヴェネツィアなどで活躍後、1708年よりロンドンで歌う
- ◆ ヘンデル「リナルド」「アマディージ」のタイトル役、再演でも度々歌う
- ◆ ヘンデルの音楽と本場イタリアの一流カストラートの組み合わせに観客は熱狂!



## ヴァレンティーニ (ヴァレンティーノ・ウルバーニ)

- ◆ 1690 - 1722 頃活躍
- ◆ ロンドンで継続的に歌った最初のカストラート
- ◆ ヘンデル・オペラでは「リナルド」「忠実な羊飼ひ」「テゼオ」「シッラ」で歌う
- ◆ 声や歌はイマイチだったが、演技は良かった？



## 《リナルド》初演時の配役

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| ◆ リナルド(十字軍の勇者)       | ニコリーニ(C)          |
| ◆ ゴッフレード(十字軍の將軍)     | F. ヴァニーニ・ボスキ(A)   |
| ◆ アルミレーナ(その娘)        | I. ジラルドー(S)       |
| ◆ エウスターツィオ(ゴッフレードの弟) | V. ウルバーニ(C)       |
| ◆ アルミーダ(魔女)          | E. ビロチスキアヴァンティ(S) |
| ◆ アルガンテ(エルサレム王)      | G.M. ボスキ(B)       |
| ◆ 魔法使い               | G. カッサーニ(C)       |
| ◆ 妖精2人               | 不明(S)             |
| ◆ 使者                 | ロレンス氏 (T)         |

## 《リナルド》ホグウッド盤(1999)の配役

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| ◆ リナルド(十字軍の勇者)       | D. ダニエルズ          |
| ◆ ゴッフレード(十字軍の將軍)     | B. フィンク           |
| ◆ アルミレーナ(その娘)        | C. パルトリ           |
| ◆ エウスターツィオ(ゴッフレードの弟) | D. テイラー           |
| ◆ アルミーダ(魔女)          | L. オルガナソヴァ        |
| ◆ アルガンテ(エルサレム王)      | G. フィンリー          |
| ◆ 魔法使い               | B. メータ            |
| ◆ 妖精2人               | A-M. リンコン, C. ポット |
| ◆ 使者                 | M. バドモア           |

## 《リナルド》ヤーコプス盤(2002)の配役

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| ◆ リナルド(十字軍の勇者)       | V. ジュノー(MS)      |
| ◆ ゴッフレード(十字軍の將軍)     | L. ザッゾ(CT)       |
| ◆ アルミレーナ(その娘)        | M. パーシオン(S)      |
| ◆ エウスターツィオ(ゴッフレードの弟) | C. デュモー(CT)      |
| ◆ アルミーダ(魔女)          | I. カルナ(S)        |
| ◆ アルガンテ(エルサレム王)      | J. ラザフォード(Br)    |
| ◆ 魔法使い               | D. ヴイス(CT)       |
| ◆ 妖精2人               | M. パーシオン, I. カルナ |
| ◆ 使者                 | _____            |

## ロイヤル・アカデミー・オブ・ミュージック(RAM) 設立

- ◆ ロンドンにおけるイタリア・オペラ興行の株式会社
- ◆ 貴族らが出資、儲かれば配当も！？
- ◆ 総裁: チェンパレン卿、取締役兼支配人: ハイデッガー...etc.
- ◆ ヘイマーケット国王劇場で公演
- ◆ 王室より今後21年間のオペラ上演の権利と、年1000ポンドの助成金を得る
- ◆ 台本作家、作曲家、歌手などは「本場」から調達
- ◆ ヘンデルは「給与付きオーケストラ楽長」

## ヘンデル、大陸への歌手探し ~ RAM「上の人達」からの指示 ~



- ◆ イタリア、ドイツ、その他適当な地で、英国の舞台にふさわしい歌手を見つけ、契約してくること
- ◆ とりあえず1年歌ってもらおう...程度の歌手は、自分の判断で契約してOK
- ◆ カストラートのセネジノとは早急に契約せよ
- ◆ (それ以外の)一流クラスの歌手を見つけた場合は、彼(または彼女)の要求する条件を速やかに知らせよ
- ◆ 経過は随時報告し、契約書の写しも送れ
- ◆ 状況に基づいた、さらなるこちらの指示にも従うこと

## セネジーノ(フランチェスコ・ベルナルディ)

- ◆ 1686 -1758 (1707-40頃活躍)
- ◆ 去勢した(された?)のは1699年
- ◆ イタリア各地で活躍後、1717年よりドレスデンの宮廷オペラ歌手
- ◆ 1720年、RAMの男性主役としてロンドン・デビュー
- ◆ 1720～33年まで、最も長期に渡りヘンデルと関わったカストラート
- ◆ 1733～36年、ヘンデルと対抗する「貴族オペラ」の主力歌手



## 1719年夏:ドレスデンの宮廷オペラ歌手達



セネジーノ(C)  
M. ベルセッリ(C)  
M. ドウラスタンティ(S)  
M. サルヴァイ(S)  
G. M. ポスキ(B)  
F. ギッツシャルディ(T)

.....  
ヘンデルは当地で彼らの舞台を見て検討  
⇒ ギッツシャルディ以外の歌手全てが欲しかったが...

予定歌手が揃わず暫定発進...

## 《ラダミスト》第1稿 初演時の配役

- ◆ ラダミスト(トラキアの王子) M. ドウラスタンティ(S)
- ◆ ゼノビア(その妻) アナスタジア・ロビンソン(A)
- ◆ ファラズマーネ(トラキア王) ラガード氏(B)
- ◆ ティリダーテ(アルメニアの王・暴君) A. ゴードン(T)
- ◆ ホリッセナ(その妻、ファラズマーネの娘) アン・ターナー・ロビンソン (S)
- ◆ フラアルテ(ティリダーテの弟) B. バルダッサーリ(C)
- ◆ ティグラネ(ポントスの王子) C. ガレラーティ(S)

## ベネデット・バルダッサーリ

- ◆ 1708 -1725頃活躍
- ◆ ヘンデルのオペラ出演以前に、ロンドンで歌う



やっと歌手が揃った！いよいよ本格上演♪

## 《ラダミスト》第2稿 初演時の配役

- ◆ ラダミスト(トラキアの王子) セネジーノ(C)
- ◆ ゼノビア(その妻) M. ドウラスタンティ(S)
- ◆ ファラズマーネ(トラキア王) ラガード氏(B)
- ◆ ティリダーテ(アルメニアの王・暴君) G. M. ポスキ(B)
- ◆ ホリッセナ(その妻、ファラズマーネの娘) M. サルヴァイ(S)
- ◆ フラアルテ(衛兵) C. ガレラーティ(S)
- ◆ ティグラネ(ポントスの王子) M. ベルセッリ(C)

## 《フロリダンテ》初演時の配役

- ◆ オロンテ(ペルシャ王・暴君) G.M. ポスキ(B)
- ◆ ロッサーネ(その娘) M. サルヴァイ(S)
- ◆ エルミーラ(王の偽りの娘) A. ロビンソン(A)
- ◆ フロリダンテ(トラキアの王子) セネジーノ(C)
- ◆ テイマンテ(テュロスの王子) B. バルダッサーリ(C)
- ◆ コラルボ(ペルシャの地方総督) ?ラガード(B)

## 《フロリダンテ》アリアの数・配分表

	役名	第1幕		第2幕		第3幕	
第1ペア	フロリダンテ	2	1	2	3		
	エルミーラ	2		3	2		
第2ペア	ティマンテ	1	1	1	1		
	ロッサーネ	1		1	2*		
悪役	オロンテ	1		1	1		
端役	コラルボ	なし		なし	1		

## オペラ・セリアあるある♪

プリモ・ウオーモ (男性主役) —♡— プリマ・ドンナ (女性主役)

セコンド・ウオーモ —♡— セコンダ・ドンナ

カストラート



## 《オットーネ》初演時の配役

クッツォーニが来た!

- ◆ オットーネ(ゲルマニア王) セネジーノ(C)
- ◆ テオファネ(東ローマ帝国皇帝の娘) F. クッツォーニ(S)
- ◆ エミレーノ(その兄、海賊) G. M. ポスキ(B)
- ◆ ジズモンダ(伊・暴君の未亡人) M. ドウラスタンティ(S)
- ◆ アデルベルト(その息子) G. ベレンシュタット(C)
- ◆ マティルダ(オットーネの従姉妹、アデルベルトの婚約者) A. ロビンソン(A)

## ガエタノ・ベレンシュタット

- ◆ 1687-1734(フィレンツェ)
- ◆ 両親はドイツ人
- ◆ ナポリやポローニャで歌う
- ◆ 初めてロンドンに来た1717年、《リナルド》再演でアルガンテ役
- ◆ 再び訪英した1722年から2シーズンRAMで歌う
- ◆ その後イタリアに戻り、亡くなる年まで舞台に立つ



## 《フラヴィオ》初演時の配役

- ◆ フラヴィオ(ロンバルディア王) G. ベレンシュタット(C)
- ◆ エミーリア(ロターリオの娘) F. クッツォーニ(S)
- ◆ グィード(ウゴーネの息子) セネジーノ(C)
- ◆ テオダータ(ウゴーネの娘) A. ロビンソン(A)
- ◆ ヴィティージェ(テオダータの恋人) M. ドウラスタンティ(S)
- ◆ ウゴーネ(王の側近) A. ゴードン(T)
- ◆ ロターリオ(王の側近) G. M. ポスキ(B)



パステッチョ《エルピディア》初演時の配役

- ◆ ペリサリオ(ビザンティン帝国の將軍) G. M. ボスキ(B)
- ◆ オリンド(ギリシャの王子) セネジーノ(C)
- ◆ アルミニオ(ギリシャの王子) A. パチーニ(C)
- ◆ エルピディア(プーリアの王女) F. クッツオーニ(S)
- ◆ ヴィティージェ(東ゴート族の王) F. ボロジーニ(T)
- ◆ ロズミルダ(その娘) B. ソロジーナ(MS)

《ジュリオ・チェーザレ》初演時の配役

- ◆ チェーザレ(ローマの初代皇帝) セネジーノ(C)
- ◆ コルネーリア(ポンペオの未亡人) A. ロビンソン(A)
- ◆ セスト(ポンペオの息子) M. ドウラスカンティ(S)
- ◆ クーリオ(ローマの護民官) ラガード氏(B)
- ◆ クレオパトラ(エジプト女王) F. クッツオーニ(S)
- ◆ トロメオ(その弟、エジプト王) G. ベレンシュタット(C)
- ◆ アキッラ(トロメオの側近・将官) G. M. ボスキ(B)
- ◆ ニレーノ(クレオパトラの従者) G. ピゴンツィ(C)

テノールが  
がんばる!

《タメルラーノ》初演時の配役

- ◆ タメルラーノ(タールの皇帝) A. パチーニ(C)
- ◆ アンドロニコ(ギリシャの王子) セネジーノ(C)
- ◆ バヤゼット(トルコ皇帝) F. ボロジーニ(T)
- ◆ アステリア(その娘) F. クッツオーニ(S)
- ◆ イレーネ(トロピソンドの王女) A. ドットィ(A)
- ◆ レオーネ(タメルラーノ、アンドロニコの相談役) G. M. ボスキ(B)

ルッケジーノ  
(アンドレア・パチーニ)

- ◆ 1690年頃生-1764年没
- ◆ 1708年ヴェネツィア、アルビノーニ《アスタルト》でデビュー
- ◆ その後16年間、イタリア各地でA. スカルラッティやボノンチーニのオペラなどに出演
- ◆ 1724-25シーズン、セネジーノのセコンド・ウォーモとしてRAMで歌う
- ◆ その後イタリアで少なくとも1732年までオペラ出演



プリマが2人!

《アレッサンドロ》  
初演時の配役

- ◆ アレッサンドロ(マケドニアの王) セネジーノ(C)
- ◆ ロッサーネ(ペルシャ人の捕虜) F. ボルドーニ(S)
- ◆ リザウラ(スキタイの王女) F. クッツオーニ(S)
- ◆ タッシーレ(インド王) A. パルディ(C)
- ◆ クレオーネ(將軍) A. ドットィ(A)
- ◆ クリート(將軍) G. M. ボスキ(B)
- ◆ レオナート(將軍) L. アンティノーリ(T)



第1期RAM  
最後のヘンデルオペラ

《トロメーオ》  
初演時の配役

- ◆ トロメーオ(前エジプト王)      セネジーノ(C)
- ◆ セレウチェ(その妻)              F. クッツオーニ(S)
  
- ◆ アレッサンドロ(トロメーオの弟)      A. パルディ(C)
  
- ◆ アラスペ(キプロス王)              G. M. ボスキ(B)
- ◆ エリーザ(その妹)                  F. ボルドーニ(S)

1728年6月1日、RAM(第1期)終了...

- ◆ 資金が底をついた
- ◆ 取締役会の分裂・紛糾
- ◆ 次シーズン、主要歌手が他と契約してしまった
- ◆ 2人のプリマをめぐるファン同士の紛争
- ◆ 墮落・腐敗した社会と品の良い(?)イタリア・オペラの乖離
- ◆ 貴族のイタリア趣味などを皮肉った「乞食オペラ」のヒット
- ◆ もう来シーズンのめどが立たない...orz
  
- ◆ でも負債を抱えて倒産したわけじゃない！  
⇒1729年1月、RAM取締役会は、ヘンデルとハイデッガーに  
ヘイマーケット王立劇場で5年間のオペラ上演を許可

第2期 RAM

(ヘンデル＝ハイデッガー時代)

- ◆ 1729年2月、再び大陸へ歌手探し
- ◆ 上からの指示は...



ファリネッリとクッツオーニを  
取って来いだとお～～？  
マジか！

…続く♪